
**Charoen Pokphand (チャロン・ポカパン) Group Company Limited との
資本提携について**

株式会社ジェネレーションパス(本社：東京都新宿区、代表取締役：岡本洋明)は、世界有数の大手複合企業の一つであるCharoen Pokphand (チャロン・ポカパン) Group Company Limited (以下、「CPG」)と資本提携を行うことを決定いたしました。

本資本提携の目的は、当社が中国におけるクロスボーダー電子商取引(国を超えた電子商取引。以下「クロスボーダーeコマース」)事業へ参入することにあります。中国のクロスボーダーeコマース市場は平成27年5月経済産業省 商務情報政策局 情報経済課による電子商取引に関する市場調査より2018年には2兆8千億円となり、現在の2倍以上と加速的かつ継続的に拡大することが見込まれており、この成長が見込まれる中国EC市場にスムーズかつ効率的な参入を果たすためにCPGとの資本提携を決断いたしました。

CPGは、農業と食料品を中心に情報通信、流通、金融、医薬品等を手掛ける世界有数の大手複合企業の一つであり、タイ、中国等を中心に国際的に事業を展開しています。また、CPGは、既に告知されているように上海の経済特区を活用し伊藤忠商事株式会社(本社：東京都港区)、中国中信集团有限公司(本社：中華人民共和国北京市)、中国における移動体通信事業者最大手の中国移动通信集团公司(本社：中華人民共和国北京市)、上海市政府傘下の上海市信息投資股份有限公司(本社：中華人民共和国上海市)と共同しこの五社により、事業会社「見見面」を設立し事業展開することで合意しております。

CPGからは、当社の多岐にわたる商品ジャンルを対象としたビッグデータの収集・分析能力と数百社に及ぶ日本の商材提供企業との提携力を活かして「見見面」の事業をサポートするという内容の協業の打診をいただき、当社の中国市場への参入意向と見解が一致したことにより今般の株式引受契約を締結する予定となりました。

今後は、当社の持つビッグデータの収集及び分析技術並びに当社の日本でのECマーケティング事業における実績を基にしたノウハウを、CPG並びに中国のクロスボーダーeコマースを推進する「見見面」に提供し、両社と共同して中国のクロスボーダーeコマース市場への参入を早期に行うことを計画しています。第三者割当増資により獲得した資金については主として、必要な中国企業の買収もしくは共同出資による事業参入に対して支出する予定です。また併せて、日本国内においてもクロスボーダーeコマース市場に参入意向のある企業との提携を進めていく方針であります。

なお、詳細な事業計画に関しては策定が完了でき次第公表してまいります。

【事業内容】

インターネット上の店舗(ECサイト)で商品販売を行う「ECマーケティング事業」を主たる事業として展開し、「優良な商材を創る企業の大切な思いを、消費者へと伝える橋渡し役を担う企業でありたい」という企業理念のもと、継続的なマーケティングデータの収集と分析及びオペレーションのシステム化を図った販売戦略を行っています。

【企業概要】

名称：株式会社 ジェネレーションパス <http://www.genepa.com/>

設立：2002年1月18日

代表取締役 岡本 洋明 (おかもと ひろあき)